

# まんさく

第315号

社会福祉法人 光寿会  
まんさく編集委員会  
和賀郡西和賀町湯本30-76-1  
TEL 0197-84-2526  
題字 元理事長 太田 祖 電



## 家族と過ごす盆踊りの会 ~8月5日~

午前中の豪雨が夢だったかのような晴天と心地よい風が吹く環境で、純粋に楽しみました♪

### 315号『まんさく』もくじ

☆2頁★

- \*若い人たちが触れた介護の世界
- \*寄贈・面会・外出等

☆5頁★

- \*「今生より往く」
- \*元気です！家族会♪

☆3頁★

- \*災害を捉える

☆6頁★

- \*「光寿会の日々」(4コマ漫画)
- \*「自然法爾」(おきさんのお話) \*「おわりに」

☆4頁★

- \*地域密着型事業

光寿会では、事務系・介護系・調理系等の職員を募集中です♪

若い人たちが触れた介護の世界



【7月8日～9日】

中学2年生の多感といえる時期に、様々な職業に触れる貴重な授業が毎年行われています。

先月は光寿苑への職業体験の中学生をご紹介しましたが、同じ日に、ひなたぼっこには湯田中学校の梨子下力さんがお見えになっていました♪

スマイルが素敵で、良い空気が流れていましたね(^^)♪

【7月24日、28日、29日】

西和賀高校2年生3名の生徒さんたちがインターンシップ（社会に出る前に仕事の場を体験してみる）のため、上記日程で光寿苑に来て下さいました。

それぞれほんの2時間の滞在時間でしたが、彼らの目にはどう映ったのでしょうかね(^^)♪



おかげさまでした

★光寿苑 ☆ひなたぼっこ、湖畔の宿

寄贈

- ★ 匿名希望 様 [西和賀町]
- ☆ 高橋 ちづ子 様 [下前]
- ☆ 梨子下 深雪 様 [上野々]
- ☆ 照井 和江 様 [北上市]
- ☆ 高橋 智也 様 [埼玉県]



面会・外泊

7月1日、31日

- 【対面面会】
- ★ 延べ128名 (対象入居者31名)
- ☆ 延べ15名 (対象入居者6名)
- 【自宅外出・外泊】
- ★ 5人 (外出)、☆ 延べ2人 (外泊)

来所

- 【7月12日、26日 機能訓練ボランティア】
- ★ 伊藤敦史 先生 [秋田県]
- 【7月24日 28日 29日 インターンシップ】
- ★ 西和賀高校2年生 … 各日1名の計3名
- 【8月5日 盆踊り手伝い、参加】
- ★ 西和賀高校1年生 … 4名
- ★ 家族会役員、家族会員 様 … 44名
- 【7月8～9日 職場体験】
- ☆ 湯田中学校2年生 … 1名

光寿会へのご支援

職員募集♪

介護職員、調理職員、事務職員も探しております。また、短時間ボランティア〔有償〕という形でも嬉しいです。一度、ぜひ、お問い合わせ下さい。

# 想...

## 災害を捉える 石川県七尾市から発信⑧

### 『能登から被災地だより⑧』竹原了珠 氏



能登半島地震から1年8ヶ月。竹原さんの投稿8回目です。お上とのやり取りの中で、乗り越えていくために「鬼になるしかない」という吐露。突き刺さります。

先日、能登で解体作業を行っている会社を経営している社長から、  
「これまでの被災地に比べて、能登ほど予算が少なかったところは無い。」  
と聞きました。これが、能登は見放されているという言葉の根拠にもなっています。

一方で、こういう事も聞きます。  
「これまでの被災地と比較して、能登ほど要望が少ない事はなかった。予算を付けたくても付けられないので困っている。」  
このこと。マまんさくで、このかいや」という能登の言葉を以前紹介しましたが、自己都合を言わない美徳が躰けられている、能登らしさの問題です。だから今の私は、能登の人らしくない」と評されます。

地震の後、すぐに私は「鬼にならねばならない」と思い定め、「鬼」になりました。支援を行うために国の力が不可欠だと思い、国会議員たちに電話をし続け、私たち宗教者が教団として加盟している全国組織にも連絡し続け、複数のチャンネルから同一内容の要望

を国に届け、省庁が聞かねばならない状況を作ってきました。最終的に、被災地対応の施策の枠組みに反映してもらおうようにまでできたのです。

ただ、国の方針が固まっても、県で止まります。国の方針が歪むことも。知事の友人から知事にアプローチしたり、県議会議員と接触して議会を取り上げてもらい、議会を取り取りを新聞記事にしてもらいます。官僚は一筋縄ではなく、行きつ戻りつ、右往左往しながら進むので、  
「知事の回答と相反する！おかしいでしょ！」  
と県議に迫り、県にはたらきかけてもらいます。

一番面倒なのは、私たちの一番近くで寄り添って欲しい「基礎自治体」です。  
県は国の意向を受け止めて要綱と予算を講じる。そして各基礎自治体にはほとんどを任せざるまでが仕事です。県の要綱を受けた市や町はアレンジを付け加えるのです。ここが国の方針がゆがめられるところがありますから、役所の担当者

に連絡し、こう切り込みます。  
「今、〇〇市の支援策の資料見えています。これ憲法違反ですよ。」  
「そんなこと言われても、県から指導されてるんですよ。」  
と内情をばらす事も。県の裏の指示を確認して、県に連絡して伝えます。

「〇〇市から聞いたんですけど、貴方方、知事の方針と違う事してますよね!? 当然知事に伝えて、県議会でも議会を取り上げてもらいますよ。」  
省庁に伝える準備もしています。来週まで待つので、対応を報告下さい。  
国や自治体に対するより、真宗大谷派の教団には少しおとなし目に振る舞って、要望はほとんど聞き入れて頂いています。

アニメ「鬼滅の刃」で、「鬼になってなっちゃダメ」とは禰豆子の台詞ですが、震災以降、「この異常な状況を打破するには、鬼になるしかない」と思い定めて、支援に水を差す者は誰彼問わず仕留めました。その為には悪態も嘘もつくし、見ず知らずの人も色んな立場を使う。  
温厚で主張しない能登の人間には、私はもう戻れないでしょう。

続

今月の登録者の方々  
16名様です♪

小規模多機能ホーム「ひなたぼっこ」  
住宅型有料老人ホーム「湖畔の宿」

雨が降らない今夏ですが ... 「ひなたぼっこの日常」



【上2枚】銀河ホール前にきた屋台にて 【左下】お茶会旅行先にて 【右下】日常の一コマ

第2回『運営推進会議』(7月8日)

外部委員10名、職員6名出席

① 前回5月の会議の際、90代の方が5名でした。今回は、名となっていていますね。これは、

② 新たな利用の方も増えた事と、5月以降に誕生日を迎えた方が数名いたためです。

③ 暑い日が続きますが、暑さ対策はどうされていますか？ エアコンを各部屋で利用してもらおうと欲めています。風が当たると寒いとの理由で止めてしまっています。水分補給を促しています。 たった一口であっても、飲んだよ」と言われてしまっているので、飲んだ量が目を確認するようにしています。

④ 湖畔の宿入居もしているTさんの「通い」訪問上の利用実績が途中から全くないのは何故ですか？

⑤ コロナ陽性となり、一ヶ月入院したため。現在は復帰しています。

⑥ 6月に湖畔入居者6名が感染しました。5月末にさわうち病院の先生等が視察にお出で下さっていて、情報交換のお陰で大変助けられました。



子孫からも、周囲の誰からも愛された母  
熊澤 ミヨさん【99歳】



# 『今生より 往く』

難易度の高いパズルを形や色を選別し、自分で頑張って完成を目指しチャレンジする姿、とても素晴らしいです。また、お年寄り・職員に分け隔てなく、色々気に掛けてくれる優しい「お母ちゃん」でした。話題も豊富。毎日、息子さんから定期的に届く手書きの絵はがきを見て嬉しそうでした。お子様方に大切にされていて、感動させられました。

【担当：高橋文子、高橋めぐみ】

第125回

125回目は、「光寿苑盆踊り」にご参加頂きました、入居者のご家族の皆さんとの楽し気な様子をご紹介します♪



元気です！家族会♪

光寿苑の日々 315号



イラスト：1000

接触することが多い現場職員あるあると言ってもいいようなこのシーン。他だと、若い職員に触れて、「若返るよだなや!」等と、ずいずいなりなされる方も居たりする。いずれにしても、お年寄りの元気になる場面…。おかげさまで(笑)

# 今も毘沙門天を肩に担う

## われらの先祖よ

### 第14回 丸田善明

#### 自然法爾

〔じねんほうに〕

県立博物館のエントランスホールに屹立する、成島毘沙門天(模像)の巨大な体軀を肩に担う人を、あなたば知っているか。

桓武天皇の頃、蝦夷の地・北東北に大和朝廷の権力は及ばず、朝廷はこの地方の征服を狙って、しばしば軍隊を送った。

今からおよそ千年前、坂上田村麻呂が蝦夷地の攻略戦に勝ち、戦勝の地に「北方守護・毘沙門天」の巨像を祀ったという。像は今も花巻市東和の成島に、国の重要文化財として大切に保存されている。

私たちは、この巨像の迫力に負けて、足許

で巨像を担ぐ人を忘れてしまふが、この人は一体誰だろう。仏教説法では「天の邪鬼」と云って、正義に刃向かう者とされる。この像は、それを打ち倒した姿なのだ。蝦夷の地・東北の先住民と云えようか。

私が成島で毘沙門天を見たのは、高校生の頃だった。それから何度も足を運んだが、足許で毘沙門天を担ぎ続ける人の心根を思いやることなく来てしまった。もしかしたら、東北の遠い先祖だったかも知れない人々…。県立博物館の模造の方が会いやすい。一度会いに行くことをお勧めする。

### おわりに

光寿苑内の二階ホールに仏間があり、▽光寿無量△の字が掲げられている。▽光寿△は「仏さまの智慧の「光」に照らされて、▽光△たちが喜び讃え合っている」の意。入居のお年寄りも、その家族も、関わる職員も、そして地域の人も、すべての人たちが喜び讃え合って生きたい；その願いを基に建てられた場所である。生き愛宣から受け継いで26年。中々その願いに立ち続けられていない日常。でも、昨晚の盆踊りの会にその願を見た。今年も碧洋寺創建四百周年。十五世住職の任と共に、光寿苑苑長の任が辛いと思う時もある。でも、その苦難も「願」に包まれている。

※苦難もまた「願」に包まれている。願に気づくためにあった。